SAKAE GREEN NEWS

今月の特集：ホルモン系除草剤　2024年7月号

株式会社サカエグリーン　富山市野々上150番地　ISO9001/14001取得　TEL(076)434-0036　FAX(076)434-4968

ホルモンバランスを撹乱

除草剤には、いくつかの作用系統があり、その一つがホルモン系除草剤です。その名の通り、植物ホルモンに類似した成分によって植物を撹乱します。今回は、ホルモン系除草剤の特徴や注意点についてご紹介します。

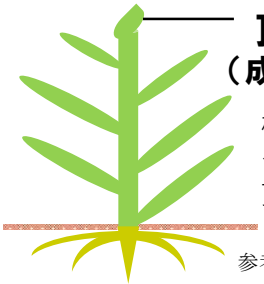
理科の授業でオーキシン（伸長成長を促進する）やエチレン（成熟を促進する）といった植物ホルモンの名前を耳にした方も多いのではないでしょうか？ホルモンとは、体の様々な働きを調節する物質の総称です。人間にとっても、ホルモンバランスの乱れは体調不良の原因となりますが、植物も同じで、それを利用したのがホルモン系除草剤（ホルモン剤と言われたりもします）です。

芝生内の広葉雑草に効果のあるMCPP液剤は、植物ホルモン「オーキシン」に似た成分を含有しています。雑草の茎葉部から吸収されると、地上部の生長点や根部へ移行し、植物体内でのホルモンの正常な働きを撹乱します。その結果、植物は茎葉のねじれなどの異常、呼吸作用の異常増進による光合成能力低下を起こし、枯死に至ります。ただし、芝生などのイネ科雑草は、体内で余分なホルモンを分解することができるため、除草剤の効果は発現しません。

ホルモン系除草剤は、気温に効果が左右され、高温時には効果が出やすく、低温時では効果が劣る傾向があります。ただし、高温時は芝生に対する薬害が出やすいため、注意が必要です。また、気温10度以下になると効果が期待できないため、使用は控えましょう。

雑草への効果を維持するとともに、芝生への影響を出さないようにするためには、高温時には登録範囲内での最低薬量（1㎡当たり0.5ml ※MCPP液剤の場合）とし、気温の低下にしたがって登録範囲内での最高薬量（1㎡当たり1.0ml ※MCPP液剤の場合）になるよう薬液を調製すると良いでしょう。繰り返しになりますが、夏期高温時と気温10度以下の低温時には、薬害発生や効果不十分となる可能性があるため、使用は控えましょう。

MCPP液剤などの主に雑草の茎葉部から吸収される除草剤、「茎葉処理剤」は、散布直後の降雨により雑草に付着した散布液が流れ落ちてしまうと、植物に有効成分が吸収されず、効果がなくなってしまいます。使用する際は、天候を見極めてから散布してください。また、散布後に降雨があった場合でも、降雨前に散布液が完全に乾いていれば、効果が期待できます。



植物ホルモンは、植物の代謝や成長等を調整する物質で、頂芽で多く生産される。

参考：サカタのタネ、丸和バイオケミカル

製品紹介

オールグリーン24号

硝酸化成抑制剤入りの緩効性肥料

- 緩効性窒素（ウレアホルム）と硝酸化成抑制剤（ジシアンジアミド）の効果で、穏やかで長期間の肥効が期待できます。
- カリは全量硫酸カリを使用しているため、葉やけの心配が少ない肥料です。

■肥料名称： 緩効性窒素入り化成
■成　　分： 窒素　8.0%
リン酸　8.0%
加里　8.0%
Mg　1.5%
■正味重量： 20kg/袋
■施用目安： 50～100g/㎡

ルートケア

亜リン酸カリ＋海洋抽出物

- 亜リン酸が葉面からスムーズに吸収され、芽数の増加・根の充実が期待できます。
- 微量元素60種類以上を含む海藻抽出物配合。
- 病原菌への防御反応を高め、病害に強い芝を育成します。

■一般名称： 亜リン酸加里・海洋抽出物配合液肥
■内容成分： リン酸（亜リン酸由来）　17.0%
カリ　11.0%
海藻抽出物　3.0%
など
■包　　装： 5kg/本、4本/ｹｰｽ
■施用目安： 3～6g/㎡を水0.3～0.5L/㎡で希釈

オリゴSG

耐病性・耐乾燥性・土壌微生物活性の向上に

■一般名称：二糖類資材
■内容成分：トレハロース　100%
■包　　装：1kg/袋、20袋入り/ケース
■施用目安：1～2g/㎡
500～1000倍希釈

- オリゴ糖は植物の病原菌感知センサー（エリシター）の活性を高め、植物の病気への抵抗性を高めるほか、乾燥などのストレスを受けた植物の細胞を保護するため、水管理の手間も低減できます。
- オリゴ糖が土壌微生物のエサになり、根圏微生物の増殖を促して土壌環境を整えます。

➢ 希釈した状態での液肥及び農薬類との混合が可能です。
➢ 肥料ではありませんので、施肥は規定どおり行ってください。
➢ 高温時の日中散布はなるべく避けてください。

●姉妹品に、海藻抽出物等を加えた「オリゴエイド」、さらに二価鉄を加えた「スーパーオリゴエイド」があります。

取扱い・お問合せは―
緑を育み、未来へつなぐ
株式会社 サカエグリーン
〒930-0171　富山県富山市野々上150番地
TEL:076-434-0036　FAX:076-434-4968